



安徽 H7N9 鳥インフル患者 5 名報告 合肥は 3 名確診 1 名死亡

合肥在线 news.hf365.com 2016-12-22 04:04 稿源: 合肥在线综合

合肥晚報訊 安徽省衛生計生委は 12 月 21 日、12 月 8 日以後、同省で 5 名の H7N9 確診患者を報告しているが、それぞれ合肥市で発症 3 名（うち 1 名は外地での発症）、死亡 1 名； 宣城市の 1 名は死亡；六安市で発症者 1 名であると発表した。 患者の所在している市・県では既に関連対応プランに基づき流行の予防管理と医療活動が展開されている。

省疾病管理の専門家は、「H7N9 鳥インフルエンザは、H7N9 亜型のインフルエンザウィルスが引き起こす気道感染症だ。 一般的に、患者には発熱や咳、少量の痰といったインフルエンザ様症状が現れるが、頭痛や筋肉痛、全身の倦怠感などを伴うこともある。 重症の患者は病状の進展が急であり、重症肺炎の症状を呈し、39 度以上の高温が続き、呼吸困難や血痰を伴うこともある； あっというまに急性呼吸逼迫症候群（宮本注：ARDS ともいう）や、縦隔気腫、膿毒症、ショック、意識障害及び急性腎機能損傷などに進むこともある」と語る。

H7N9 インフルエンザの感染源は未だに不明確だが、H7N9 インフルエンザは気道を通じて感染、或いは、鳥類の分泌物や排泄物などに過度に濃厚接触したことにより、また、ウィルスに直接暴露することにより感染するが、これまでのところ、ヒトヒト間の伝播についての確実なエビデンスは見つかっていない。 H7N9 インフルエンザに感染することによるハイリスクグループは、現段階では、主に鳥類の養殖や販売、屠殺に従事する人、加工業者および発症一週間前に鳥類に暴露している人達とされている。

H7N9 インフルエンザの予防には、手洗いの励行や換気通風の確保をし、くしゃみや咳をする際に口鼻を覆う等、良好な個人の衛生習慣をつけることが必要だ。 一旦発熱や頭痛、咳、全身の倦怠感などが現れた場合には、マスクをして速やかに医院に行くこと。 同時に、医師に対して、発症前の渡航歴や鳥類への暴露歴を告げること、医師の指導かて正しい治療服薬をすることが必要だ。 感染機会を減らすためにも、専門家は、消費者が自ら家禽を屠殺することを避けるべきだとアドバイスしている。（合肥晚報）

専門家： H7N9 インフルエンザは予防も制御も可能だと

省衛生計生委の疾病管理の専門家は、H7N9 鳥インフルエンザの感染源は H7N9 ウィルスを携帯した鳥類やその分泌物や排泄物であろうと考えられ、住民は不必要に自らの家禽を屠殺せず、良好な衛生習慣を守り、個人の予防措置をしっかりと採ることが必要だという。

H7N9 インフルエンザは、H7N9 亜型のインフルエンザウィルスが引き起こす急性気道感染症で、冬から春にかけて多発する。 H7N9 インフルエンザに感染した患者は、発熱や咳、少量の痰といったインフルエンザ様の症状が現れるが、頭痛や筋肉痛、全身の倦怠感が表れることもある； 一部の患者では病状の進展が極めて迅速であり、重症患者の主な臨床症状としては、重症肺炎化し、死に至ることもある。 H7N9 鳥インフルエンザの感染源が H7N9 インフルエンザウィルスを携帯している鳥類及びその分泌物或いは排泄物であり、感染しやすいハイリスクグループとしては、現段階ではやはり主に活禽との接触歴をもつものであるというエビデンスが現存する。 H7N9 インフルエンザは気道を通じて伝播するが、感染した鳥類の分泌物や排泄物などに接触することで感染する、直接ウィルスに触れることもまた感染するが、これまでの所ヒトヒト間の伝播についての的確なエビデンスはない。

省衛生計生委の専門家は、「H7N9 は予防も制御も可能であり、住民は、日常生活の中できっちりと予防措置を講じなければならない。 病気の、或いは病死した鳥類を筆頭に家禽との不必要な接触を極力避けること； 鳥類や鳥類の糞便に触れた場合、消毒液と清水で徹底的に両手を洗うことに注意せねばならない。 活禽を購入して自分で屠殺や加工をしないこと； きちんと加工調理されている『白条鶏』など正規の検疫を受けた鳥類製品を購入すること。 野外など外出時に病気或いは病死した野鳥を見つけた場合、軽々に触れずに、速やかに発見した現場の管理部門に報告をすること。 鳥類の肉は加熱し、良く煮炊きし、鶏卵を食べる前には、タマゴの殻を流水で洗浄し、ナマタマゴや半生のタマゴを食べないこと。 もし、インフルエンザ様の症状が現れたら速やかに医師にかかり、活禽への暴露歴など医師に対して告知するようにすることが必要だ」という。（安徽日報）

宮本注： 厦門の件で報じられた **H7N9** 鳥インフルエンザの『甲類伝染病の管理から乙類に管理基準が引き下げられた』ことについては、一切触れられていません。 厦門の件で『騰訊新聞』が伝えているこの内容は、事実誤認ではなからうかと。。。。

<http://news.hf365.com/system/2016/12/22/015142309.shtml>

..... 以下は中国語原文

安徽报告 5 例 H7N9 病例 合肥确诊 3 例死亡 1 例

合肥在线 news.hf365.com 2016-12-22 04:04 稿源： 合肥在线综合

合肥晚报讯安徽省卫生计生委 12 月 21 日通报，12 月 8 日以来，我省共报告 5 例 H7N9 确诊病例，分别为合肥市 3 例(其中 1 例异地发病)，死亡 1 例；宣城市 1 例，死亡；六安市 1 例。病例所在市县已按照相关预案开展疫情防控和医疗救治工作。

省疾控专家介绍，H7N9 流感是由 H7N9 亚型流感病毒引起的急性呼吸道传染病。患者一般表现为流感样症状，如发热，咳嗽，少痰，可伴有头痛、肌肉酸痛和全身不适。重症患者病情发展迅速，表现为重症肺炎，体温大多持续在 39℃ 以上，出现呼吸困难，可伴有咯血痰；可快速进展出现急性呼吸窘迫综合征、纵隔气肿、脓毒症、休克、意识障碍及急性肾损伤等。

H7N9 流感的传染源目前尚不明确，H7N9 流感经呼吸道传播，也可通过密切接触感染的禽类分泌物或排泄物等被感染，直接接触病毒也可被感染，目前尚无人与人之间传播的确切证据。感染 H7N9 流感的高危人群现阶段主要为从事禽类养殖、销售、宰杀、加工业者，以及在发病前 1 周内接触过禽类者。

H7N9 流感的预防要做到勤洗手、开窗通风、咳嗽和打喷嚏时遮掩口鼻等良好的个人卫生习惯。一旦出现发烧、头痛、咳嗽、全身不适时，戴上口罩及时就医。并切记要告诉医生发病前有无外出旅游或与禽类接触史，在医生指导下正规治疗和用药。为减少感染机会，专家建议消费者不要自行宰杀家禽。(合肥晚报)

专家：H7N9 流感病可防可控

省卫计委疾控专家提醒，H7N9 禽流感的传染源可能为携带 H7N9 病毒的禽类及其分泌物或排泄物，居民应注意不要自行宰杀家禽，养成良好卫生习惯，做好个人防护措施。

H7N9 流感是由 H7N9 亚型流感病毒引起的急性呼吸道传染病，多发于冬春季节。感染 H7N9 流感的患者一般表现为流感样症状，如发热，咳嗽，少痰，可伴有头痛、肌肉酸痛和全身不适；部分病例病情发展迅速，重症患者主要表现为重症肺炎，严重者可导致死亡。现有证据表明，H7N9 禽流感的传染源可能为携带 H7N9 病毒的禽类及其分泌物或排泄物，感染 H7N9 禽流感的高危人群现阶段也主要为活禽接触史者。H7N9 流感经呼吸道传播，也可通过密切接触感染的禽类分泌物或排泄物等被感染，直接接触病毒也可被感染，但目前尚无人与人之间传播的确切证据。

省卫计委专家提醒，H7N9 流感可防可控，居民在日常生活中应尽量做好预防措施。尽可能减少与禽类不必要的接触，尤其是与病、死禽的接触；接触过禽鸟或禽鸟粪便后，要注意用消毒液和清水彻底清洁双手。尽量不买活禽自行宰杀、加工；购买已加工好的白条鸡等禽类产品要确保经过正规检疫。外出时如在野外发现生病或死亡的野鸟，不要轻易接触，并及时报告发现场所的管理部门。吃禽肉要煮熟、煮透，烹食鸡蛋前应将蛋壳用流水洗净，不吃生的或半生的鸡蛋。一旦出现流感样症状要及时就医，如有活禽接触史，需告知接诊医生。(安徽日报)

20161222A 安徽 H7N9 鳥インフル患者 5 名報告 合肥で 3 名確診 1 名死亡(合肥在線)